

マスターセンター事業

株式会社インテジテクノスフィア

(株式会社ジャパン・インフォレックス、ジーエフケー マーケティングサービス ジャパン株式会社、株式会社Payke)

【お問い合わせ】

商品情報部

永松 淳 (ながまつ じゅん)

master-center@intage.co.jp

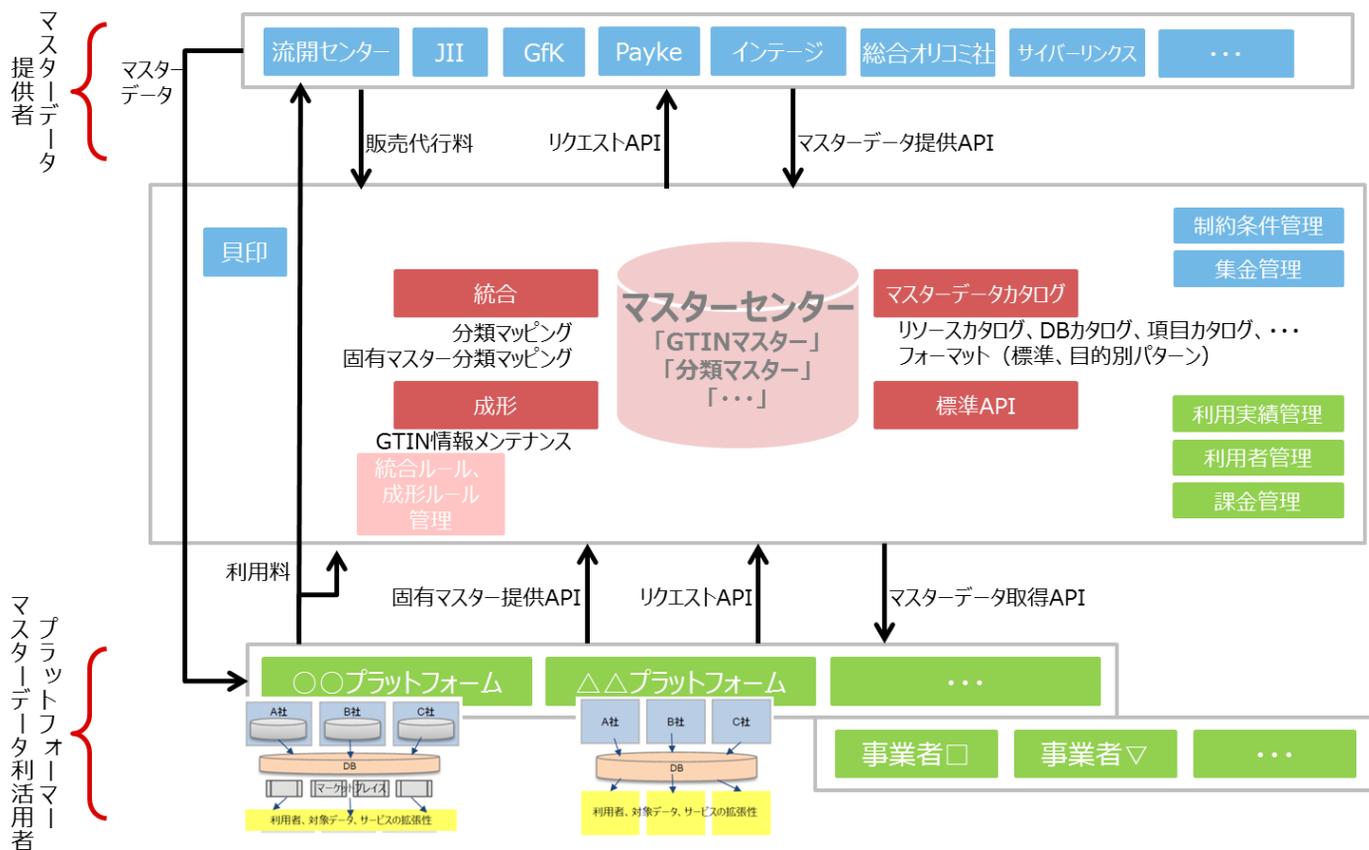
事業概要

消費・流通業界では、様々な主体（プレイヤー）が、消費・流通の様々な側面をデータ化し、ビッグデータとして消費者ニーズや消費行動の解明、マーケティングへの活用などが始まっている一方、「ビッグデータ」の多くが個々の主体（企業・グループ）が独自に構築・収集・整備したものであり、その活用も個々の主体内に限られていることが多くなっている。

本事業では、様々な主体が部分的に整備している「商品マスター」を統合する仕組みの検討を行う。

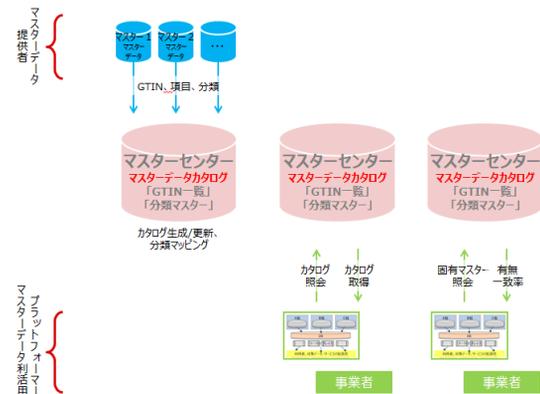
事業モデル

様々な主体が持つマスターデータを収集し、各種標準分類や、提供先ニーズに合わせたデータ形成、カタログ作成などを実施したうえで、マスターデータ利活用者にデータを共有するプラットフォーム事業

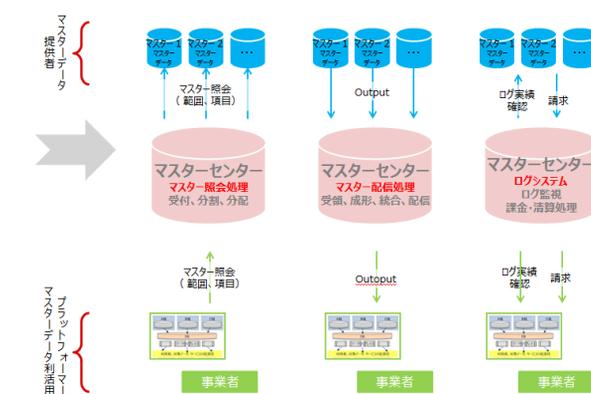


データ利用イメージ

事例①分類、成形、カタログ生成



事例②マスターデータ取得



- ・マスター事業者の集約
- ・プロセス設計
 - 管理業務設計
 - イレギュラー業務設計 など
- ・コアコンテンツ設計
 - 「マスターデータカタログ」の設計、プロトタイプ実証
 - 個々マスターとマスターセンターのI/F設計、プロトタイプ実証
 - マスターセンターと利用者のI/F設計、プロトタイプ実証
 - 分類/TAGの運用設計、プロトタイプ実証
- ・ビジネスモデル精査

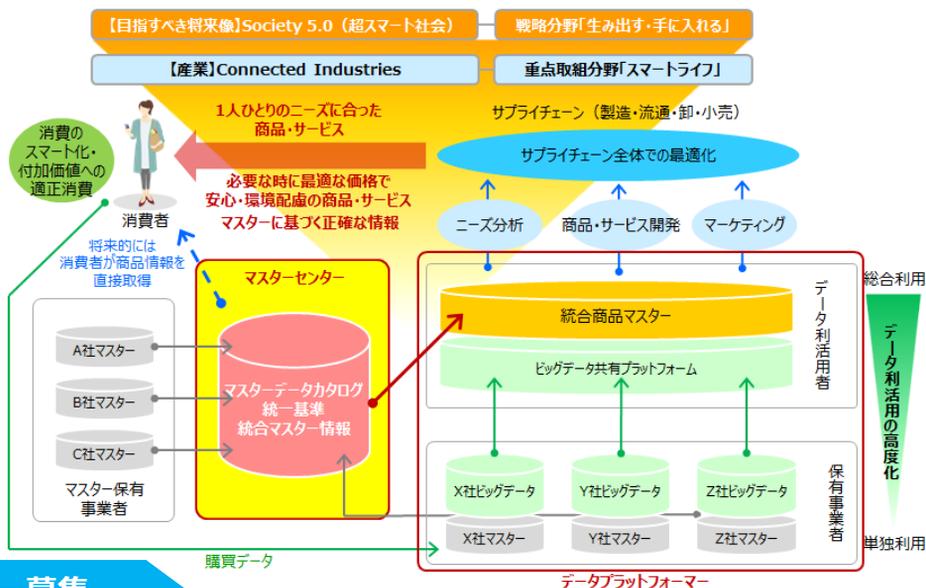
本提案事業が目指す「マスターセンター」が整備・運用されることにより、商品マスターを必要とする利用主体は、One Stopで手軽に、統一基準化された正確な商品情報/付帯情報を入手することが可能。

これにより、各主体自身が保有するビッグデータやそれと外部データを組み合わせたデータの利活用が促進・活発化され、その結果として消費者のニーズの分析・理解、消費者ニーズに即した商品やサービスの開発が促進され、消費者が中心となる「スマートライフ」の実現に寄与する。

今後のスケジュール

2018年度はプロトタイプ開発、実証実験まで実施するが、次年度以降は本格的運用に向け開発・運用体制構築を検討する計画。3年後には各マスターを集約するハブとなり、利活用者のニーズを集約/対応するマスターセンターとして社会に必要な産業データ共有基盤となることを想定。

	2018	2019	2020
①個々マスター事業者の集約	7社スタート	10社/協議会等設立	
②運営プロセス設計	設計・実証実験	実証実験・マニュアル・規約等準備	
③コアコンテンツ設計・開発	設計 プロトタイプ	開発	ローンチ
④インターフェース設計・開発	設計	開発	ローンチ
⑤運用リソース	プロトタイプ運用	体制構築	
⑥利用者ニーズ対応	プラットフォーム、事業者ヒアリング		



ビジネスパートナー募集

本事業にご協力いただける、以下のような事業者を希望する。

- 【データ提供者】商品・サービスのマスターを保有・整備している事業者
- 【データ利用者】所有するビッグデータのさらなる充実を検討している事業者
- 【その他】業界特有の標準分類等の知見をお持ちの事業者